

平成30年6月1日
西部農林振興センター益田事務所農業普及部

| | |
|-----|--|
| 標 題 | 西いわみ地方に集落放牧シーズン到来！ 今年は、飼育牛＋レンタル牛放牧にチャレンジ！ |
|-----|--|

(ダイジェスト)

5月26日、益田市二条地区の(農)横尾衛門の牧野で集落放牧が始まり、隣町の畜主が搬入した2頭のレンタル牛の入牧検査を法人構成員3名と当普及部3名で行いました。

当法人では、昨年度2頭目の繁殖雌牛を購入、今年もう1頭増頭の計画もあり、和牛の放牧による経営の多角化が進行中です。

1 状況

当法人は、平成27年度から牛のレンタルを受けて放牧開始。平成28年度に1頭、平成29年度にもう1頭を購入し延べ3頭の子牛を生産、これまでに内2頭を販売し 集落営農の多角化を進めています。

当日は、畜主、集落法人に加えて当普及部畜産担当が入牧に立ち合い、体測を含む健康チェックの外、外部寄生虫駆除剤滴下を支援しました。そして、放牧直後の牛の行動に異常がないか観察し、相互に情報交換を行いました。

2 今年度の放牧見通し等

現在、当法人には牛が3頭いますが、放牧可能なのは7月に妊娠末期を迎える1頭のみであり、当面はレンタル牛2頭を加えた3頭を放牧する予定です。

当法人は今年度、1頭の増頭計画がある外、猪の農作物被害低減を図るために次年度、別の遊休農地への新規放牧場設置案も出ているなど気運が高まっています。



入牧検査



入牧後の観察、情報交換